

○ タ イ ト ル : がん医療フォーラム 2018
「がんを知り、がんと共に生きる社会へ」

アンケート

○ 日 時 : 2018年12月2日(日)13:00~16:30

○ 会 場 : 一橋講堂
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター 2階)

○ 対 象 : がん患者、医療関係者をはじめ、どなたでも

○ 開 催 概 要 : 診断と治療の進歩により、がんの治療やケアは大きく変わりつつあります。フォーラムでは、がんをとりまく現状、信頼できる情報の共有と連携の仕組みづくり、がんになっても安心して暮らすことのできる地域づくりなど、がんを経験した当事者の視点を取り入れながら、さまざまな角度から議論します。

○ 参加者数(講師含) : 300 名

○ アンケート回収数 : 231 件

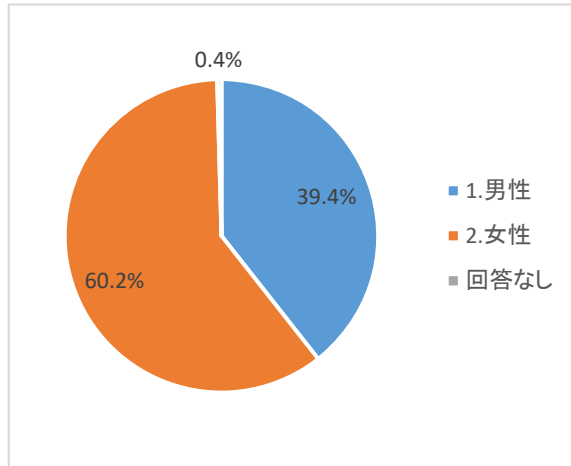
主 催 : 公益財団法人正力厚生会

後 援 : 厚生労働省、国立研究開発法人国立がん研究センター、公益財団法人がん研究会、読売新聞社

協 力 : 地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報普及と活用プロジェクト

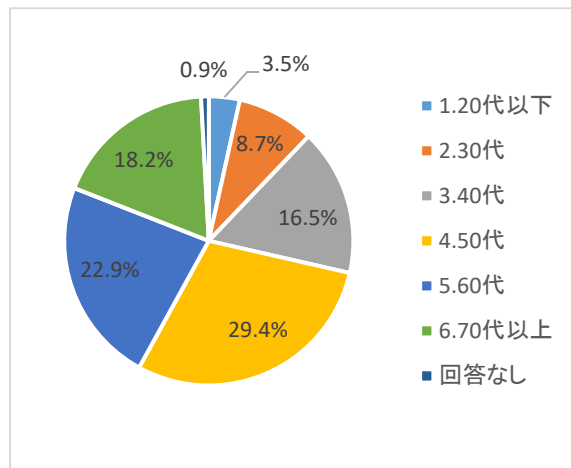
Q1.性別を教えてください

	件数	比率
1.男性	91	39.4%
2.女性	139	60.2%
回答なし	1	0.4%
合計	231	100.0%



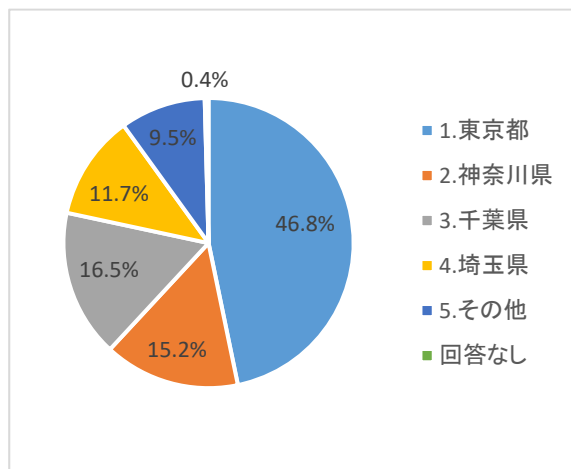
Q2.年代をお選びください

	件数	比率
1.20代以下	8	3.5%
2.30代	20	8.7%
3.40代	38	16.5%
4.50代	68	29.4%
5.60代	53	22.9%
6.70代以上	42	18.2%
回答なし	2	0.9%
合計	231	100.0%



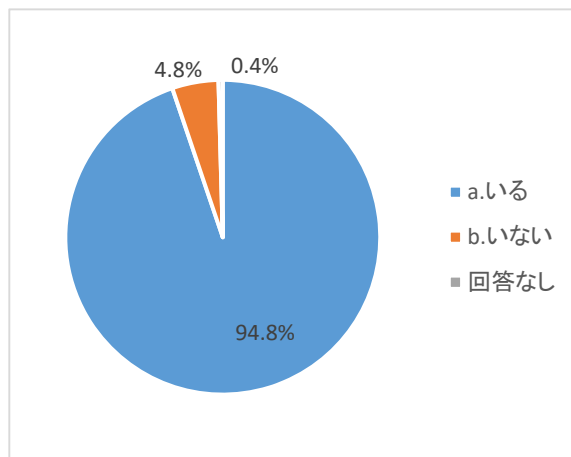
Q3.お住まいの都道府県を教えてください

	件数	比率
1.東京都	108	46.8%
2.神奈川県	35	15.2%
3.千葉県	38	16.5%
4.埼玉県	27	11.7%
5.その他	22	9.5%
回答なし	1	0.4%
合計	231	100.0%



Q4.現在または過去にご自身やご家族、周囲にがんにかかっている方はいらっしゃいますか。

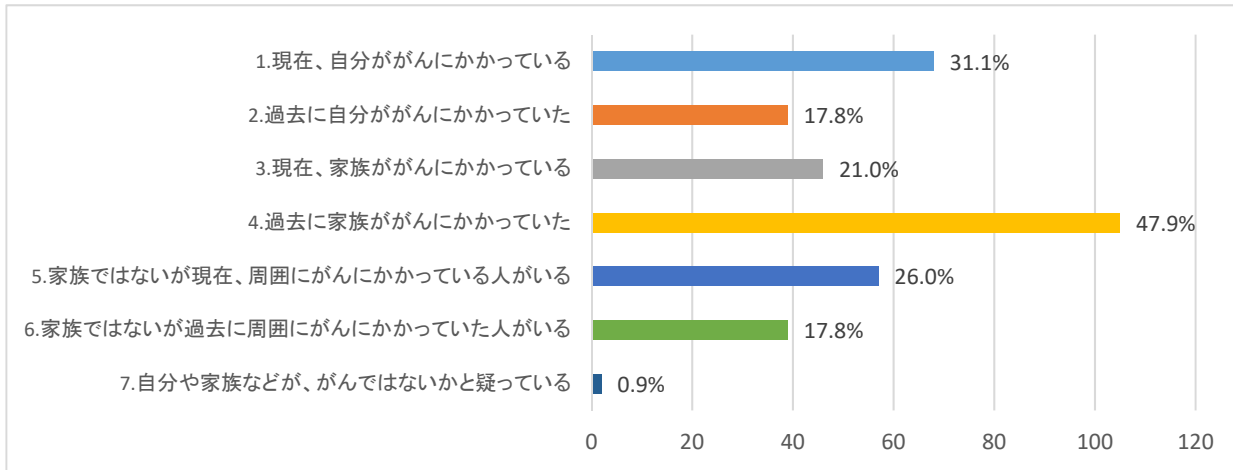
	件数	比率
a.いる	219	94.8%
b.いない	11	4.8%
回答なし	1	0.4%
合計	231	100.0%



a.いる(以下の当てはまるものすべての番号を○で囲んでください)

	件数	比率
1.現在、自分ががんにかかっている	68	31.1%
2.過去に自分ががんにかかっていた	39	17.8%
3.現在、家族ががんにかかっている	46	21.0%
4.過去に家族ががんにかかっていた	105	47.9%
5.家族ではないが現在、周囲にがんにかかっている人がいる	57	26.0%
6.家族ではないが過去に周囲にがんにかかっていた人がいる	39	17.8%
7.自分や家族などが、がんではないかと疑っている	2	0.9%
回答数		356
回答者数		219

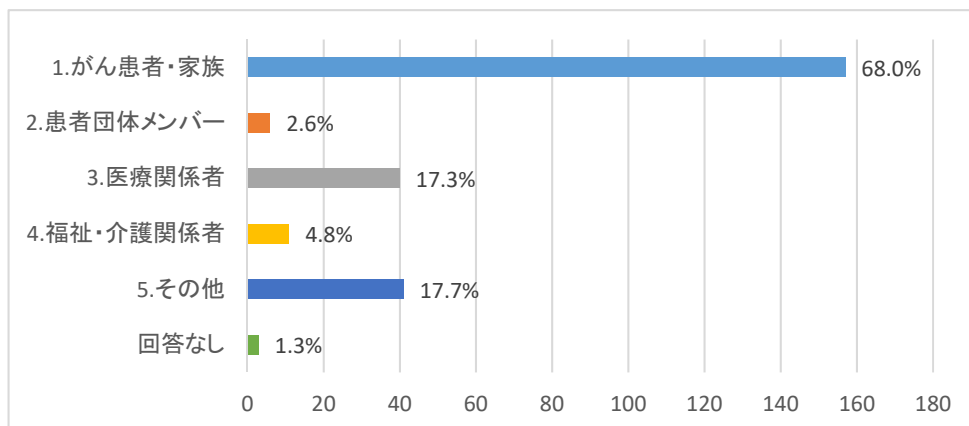
※複数回答の為、回答者数より比率を算出しています。



Q5. どのようなお立場で参加されましたか
(複数に該当する場合は主なものをお選びください)

	件数	比率
1.がん患者・家族	157	68.0%
2.患者団体メンバー	6	2.6%
3.医療関係者	40	17.3%
4.福祉・介護関係者	11	4.8%
5.その他	41	17.7%
回答なし	3	1.3%
回答者数		231
回答数		258

※複数回答の為、回答者数より比率を算出しています。



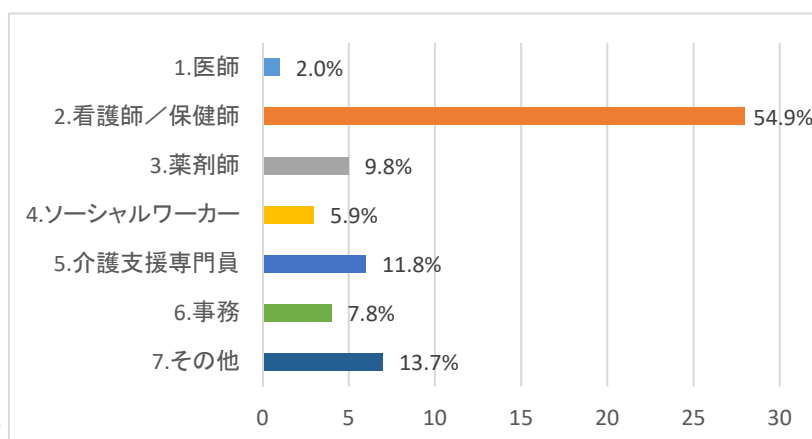
Q6.上記で「3.医療関係者」および「4.福祉・介護関係者」

にチェックされた方にお尋ねします。

a.職種・専門分野をお聞かせください。

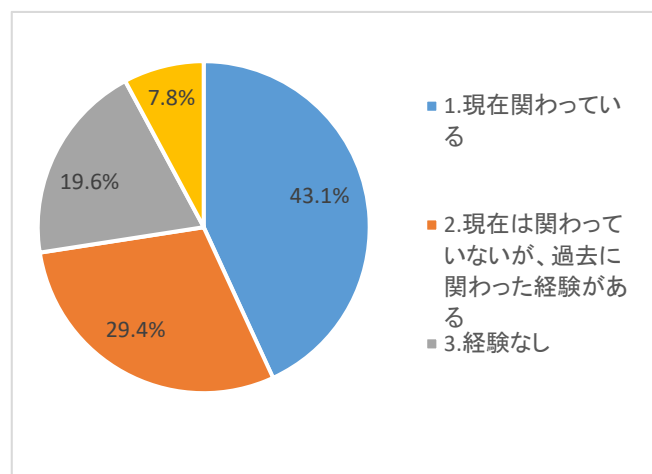
	件数	比率
1.医師	1	2.0%
2.看護師／保健師	28	54.9%
3.薬剤師	5	9.8%
4.ソーシャルワーカー	3	5.9%
5.介護支援専門員	6	11.8%
6.事務	4	7.8%
7.その他	7	13.7%
回答者数	51	
回答数	54	

※複数回答の為、回答者数より比率を算出しています。



b.がん患者さんやご家族などに対する相談支援に関わったご経験をお聞かせください。

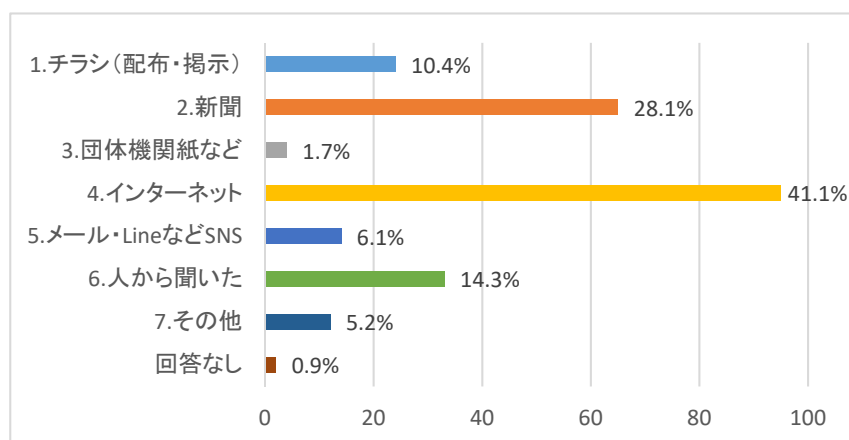
	件数	比率
1.現在関わっている	22	43.1%
2.現在は関わっていないが、過去に関わった経験がある	15	29.4%
3.経験なし	10	19.6%
未記入	4	7.8%
合計	51	100.0%



Q7.本日のフォーラムをどこで知りましたか。

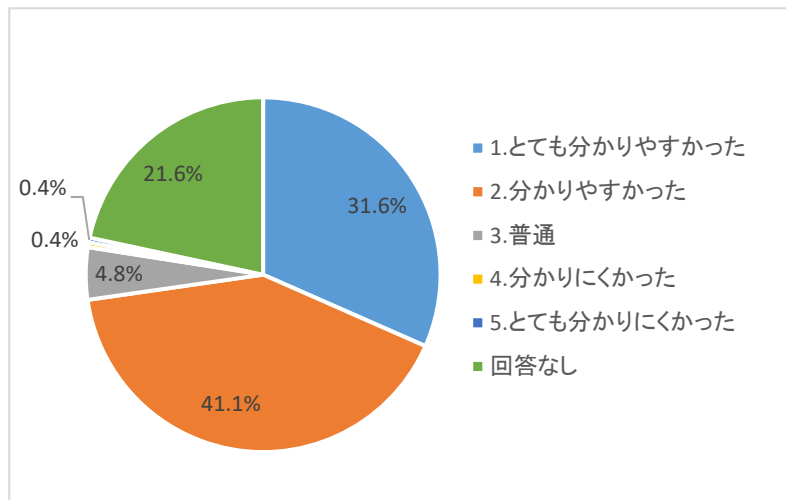
	件数	比率
1.チラシ(配布・掲示)	24	10.4%
2.新聞	65	28.1%
3.団体機関紙など	4	1.7%
4.インターネット	95	41.1%
5.メール・LineなどSNS	14	6.1%
6.人から聞いた	33	14.3%
7.その他	12	5.2%
回答なし	2	0.9%
回答者数	231	
回答数	249	

※複数回答の為、回答者数より比率を算出しています。



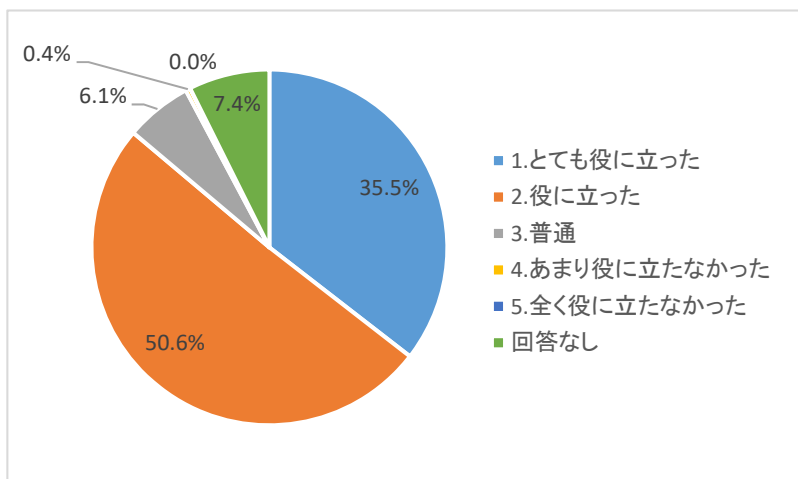
Q8.フォーラムの内容は分かりやすかったですか。

	件数	比率
1.とても分かりやすかった	73	31.6%
2.分かりやすかった	95	41.1%
3.普通	11	4.8%
4.分かりにくかった	1	0.4%
5.とても分かりにくかった	1	0.4%
回答なし	50	21.6%
合計	231	100.0%



Q10.フォーラムの内容は役に立ちましたか。

	件数	比率
1.とても役に立った	82	35.5%
2.役に立った	117	50.6%
3.普通	14	6.1%
4.あまり役に立たなかった	1	0.4%
5.全く役に立たなかった	0	0.0%
回答なし	17	7.4%
合計	231	100.0%



<自由回答>

■「ご意見・ご感想」

- 大変勉強になった、役に立った …16件
- 正しい情報の入手方法・判断の仕方を知った …15件
- 実際のがん患者さんや家族の話がよかった、心に残った …14件
- 今後の参考になった …10件
- 勇気もらった、元気がでた …8件
- 患者会を探そう、参加してみようと思った …5件
- 今後もこのようなフォーラムを開催して欲しい …4件
- 希少がんについての言及がよかった …4件
- 当事者として共感できる内容だった、心が楽になった …3件
- 配布資料がないものがあり残念だった、欲しかった …3件
- 専門的でなく、もう少し誰にでもわかる言葉で話して欲しい
- 高齢者へのネットではない活動の場を知らせる手段を考えて欲しい

■あなたの考える「がんを知り、がんと共に生きる社会」とは、どのような社会ですか。
ご自由にお書きください。

- 病気をオープンにでき、それを受け止められる …16件
- 仕事を継続できる、職場の理解がある …15件
- がんでなくても正しい知識を身につける、理解を深める …12件
- 相手を思いやれる、尊重できる …7件
- 正しい情報、有益な情報を得られる …5件
- 患者さんや家族が孤独にならない …5件
- がんになっても患者さんや家族が同じように生活が送れる …4件
- がんを特別視しない …4件
- がん教育を実施し、理解を深める …4件
- 患者さんが安心して暮らせる …3件
- 必要な時に必要なサポートが得られる …3件

■本日のフォーラムでもっと詳しく知りたかった点や議論したかった点、お感じになったことなどをご自由にお書きください。

- 今後も継続して行って欲しい …5件
- 意見交換の時間が欲しかった …4件
- がん患者の就労 …4件
- 医師との関係、コミュニケーションの取り方 …3件

- 家族に対するフォローアップ …3件
- 最新の治療情報 …3件
- いろいろな団体があることを知った …2件
- 若い世代のがん …2件
- 在宅医療 …2件
- 講演が早口に感じた …2件